

3年生 あゆみの見方

	観点	評価内容
国語	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 ・相手を見て言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。 ・正しい文章表記を使うことができる。また、簡単なローマ字を読んだり書いたりすることができる。 ・漢字と仮名を使い分け、正しく読んだり書いたりできる。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語彙を豊かにし、話や文章の中で使うことができる。 ・主語と述語、修飾と被修飾との関係や指示語や接続語、段落の役割について理解することができる。 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意し、書くことができる。 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 ・考えとその理由や事例、話の中心など情報と情報との関係について理解することができる。 ・比較や分類の仕方、メモの取り方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や辞典の使い方を理解することができる。 ・易しい文語調の短歌や俳句の言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ・ことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。 ・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることを理解することができる。 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意し、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くことができる。 ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識を得ることに役立つことに気付くことができる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識して、集めた材料を比較・分類し、必要な事柄を選ぶことができる。 ・事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 ・話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 ・記録や質問しながら聞き、話の中心を捉え、自分の考えを持つことができる。 ・司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめることができる。 ・経験や想像から書くことを選び、集めた材料を比較・分類し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・内容の中心を明確にし、段落相互の関係に注意して文章の構成を考えることができる。 ・自分の考えとその理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ・文を読み直し、相手や目的を意識した表現になっているかを確認することができる。 ・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章の良いところを見つけることができる。 ・段落相互の関係に着目しながら、考えとその理由や事例との関係などについて捉えることができる。 ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 ・中心となる語や文を見つけて要約することができる。 ・登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つことができる。 ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、ねばり強く取り組んでいる。

	観点	評価内容
社会	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や市町村の様子、生産や販売の仕事の内容、消防署や警察署などが地域の安全につとめていることについて理解することができる。 ・聞き取りや調査をして、地図などの資料で調べ、年表などにまとめることができる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や市の様子をとらえ、場所による違いを考え、表すことができる。 ・生産や販売の仕事の様子をとらえ、生活との関連や工夫を考え、表すことができる。 ・安全を守る人々の活動や働きを考え、表すことができる。 ・市や人々の生活の様子や変化を考え、表すことができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会を考え、学習したことをいかし、すすんで問題解決しようとしている。

	観点	評価内容
算数	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 万の単位と 1 億を表すことができ、比べることができる。 ・ 10 倍、100 倍、1000 倍、$1/10$ の大きさの数について知り、表すことができる。 ・ 3 位数や 4 位数のたし算やひき算ができ、筆算の仕方について理解できる。 ・ 2 位数や 3 位数に 1 位数や 2 位数をかけるかけ算の計算ができ、筆算の仕方について理解できる。 ・ わり算の意味やあまりについて理解し、わり算が用いられる場面を式に表したり、読み取ったりできる。 ・ 小数 ($1/10$ の位まで) や簡単な分数の大きさを比べ、たし算やひき算ができる。 ・ 分数の意味や表し方がわかり、簡単な場合について、たし算やひき算の計算ができる。 ・ □などを用いて、数量の関係を式に表すことができる。・そろばんによる数の表し方について理解し簡単な計算ができる。〔図形〕・二等辺三角形、正三角形、円、球を構成する概念について作図を通して理解することができる。基本的な図形と関連して、角について分かる。 ・ 長さや重さの単位 (km・g・kg) について理解し、適切な単位で表したり計器を用いて測定したりすることができる。 ・ 時間の単位 (秒) について知ること。 ・ 日常生活に必要な時刻や時間の求め方を理解できる。 ・ データを分類整理し、表に表したり読んだりできる。 ・ 棒グラフの特徴や使い方を理解できる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数の相対的な大きさを数のまとまりに着目して捉え、数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かすことができる。 ・ 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算について成り立つ性質を見出し、活用できる。 ・ 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かすことができる。 ・ 数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表すことができる。 ・ そろばんの仕組みに着目し、計算の仕方を考えることができる。 ・ 二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に着目することができる。 ・ 身の回りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考えられる。 ・ 時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かすこと。 ・ データを整理する観点に着目し、表やグラフを用いて、特徴や傾向などの見出したことを表現できる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算数の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、ねばり強く取り組んでいる。

	観点	評価内容
	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの生物の成長のしかたや体のつくりがわかる。 ・風とゴムの力の働きが分かる。 ・太陽と地面の様子との関係がわかる。 ・光と音の性質が分かる。 ・物の重さや体積の性質が分かる。 ・電気を通す物、電気を通すつなぎ方がわかる。 ・磁石の性質が分かる。 ・虫眼鏡や磁石などの器具や機器を正しく使い、実験、観察ができる
理科	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの生物の様子を調べる中で、ちがいや共通点をもとにして、身の回りの生物と環境との関わり、昆虫や植物の成長のきまりや体のつくりについて問題を見つけ、表すことができる。 ・風とゴムの力で物が動く様子を調べる中で、ちがいや共通点をもとにして、風とゴムの働きについて問題を見つけ、表すことができる。 ・日なたと日かげの様子について調べる中で、ちがいや共通点をもとにして、太陽と地面の様子との関係について問題を見つけ、表すことができる。 ・光を当てたときの明るさや暖かさの様子、音を出したときの震え方の様子を調べる中で、ちがいや共通点をもとにして、光と音の性質についての問題を見つけ、表すことができる。 ・物の形や体積と重さの関係を調べる中で、ちがいや共通点をもとにして、物の重さの性質について問題を見つけ、表すことができる。 ・乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子を調べる中で、ちがいや共通点をもとに、電気の回路について問題を見つけ、表すことができる。 ・磁石を身の回りの物に近づけたときの様子を調べる中で、ちがいや共通点をもとにして、磁石の性質についての問題を見つけ、表すことができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、ねばり強く取り組んでいる。

	観点	評価内容
音楽	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽表現において、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くことができる ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くことができる。 ・音楽づくりの活動を通していろいろな音の響きなどの組み合わせの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について知り、それらが生み出すよさや面白さなどを関わらせて気付くことができる。 ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くことができる。 ・音楽を形づくっている要素および音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現において範唱を聴いたり八長調の楽譜を見たりして歌う技能を身につけている。 ・呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身につけている。 ・互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につけている。 ・器楽において、範奏を聴いたり、八長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身につけている。 ・音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身につけている。 ・互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につけている。 ・条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身につけている。 ・音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身につけている。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現や器楽表現についての知識や技能を生かし、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりすることについて思いや意図を持つことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・即興的に表現することや、音を音楽へ構成することを通して、音楽づくりの発想やまとまりを意識した音楽を作ることについて思いや意図を持つことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことや感じ取ったこととの関わりについて考えることができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。

	観点	評価内容
図工	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点（形や色などの感じ）について、自分の感覚や活動を通して分かる。 ・造形遊び、絵や立体、工作の活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びを通して、身近な材料や場所、新しい形や色を基に造形的な活動を思い付き、どのように活動するかについて考え、工夫（組み合わせ、切ったり、形を変えたり）している。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと・想像したこと・見たことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、表し方について考え、工夫している。 ・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせて活動している。 ・鑑賞を通して、身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 ・形や色などの感じをもとに、自分のイメージをもっている。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・図工の学習に、よりよく学ぼうと意欲をもち、楽しく取り組んでいる。

	観点	評価内容
体育	知識 ・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心身の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 ・多様な動きをつくる運動では、体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きを組み合わせることができる。 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技ができる。 ・鉄棒運動では、支持系の基本的な技ができる。 ・跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。 ・かけっこ・リレーでは、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりできる。 ・小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越えることができる。 ・幅跳び・高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 ・浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎができる。 ・もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方ができる。 ・ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きができる。 ・ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動することができる。 ・ベースボール型ゲームでは、基本的なボール操作と得点をとったり防いだりする動きができる。 ・表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 ・リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。 ・心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることがわかる。 ・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つこと、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることがわかる。
	思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動や様々な動きをつくる運動において、自分の課題を見つけ、その課題を解決するための活動を工夫し、その考えを友達に伝えることができる。 ・器械運動において、自分の能力に適した課題を見つけ、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 ・走・跳の運動において、自分の能力に合った課題を見つけ、その課題を解決するための活動を選んだり、動きを身につけるための活動や競争の仕方を工夫したりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 ・水泳運動において、自分の能力に適した課題を見つけ、水の中での動きを見につけるための活動を選んだり、工夫したりするとともに考えたことを友達に伝えることができる。 ・ゲームにおいてルールを工夫したり、ゲームの型に合った簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 ・表現運動において、自分の力に適した課題を見つけ、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を選んだり工夫したりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。 ・健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができる。
	主体的に 学習に 取り組む 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と認め合いながら、最後まで努力して学習に取り組んでいる。 ・健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に取り組んでいる。